



このお便りは、「キャリア教育」と「キャリア教育に関すること」について理解を深めるために作成しています。Q&A方式でお送りします。

なぜ学校で「理科」の勉強をするの？



今回は日々のニュースや自然現象を理解するために重要な教科の一つ「理科」についてです。それでは、お願いします。

教科を通してどんな力を育てていきますか？

- ①自然現象や身の回りから「？」を見つける力
- ②観察や実験を通して、「？」を調べる力
- ③自分の考えを伝えたり、ひとの考えを聞いたりして、「？」を探求する力
- ④「？」の真理を理解する力



身に付いた力は社会に出てからどう役立ちますか？

私たちは自然のなかで生きており、科学の力によって便利で豊かな生活を送っています。その中には不思議なことや分からないこと、「？」がいっぱい隠されています。「なんで血は赤いの？」「カイロがあたたくなるのはなぜ？」当たり前すぎて見過ごしている身の回りの「？」を見つけることが科学のスタート！中学校の理科では、実験をしたり、みんなと話し合ったりして、「？」の真理を見つけます。



疑問を持ち、研究する方法を理科で学ぶことで、「論理的な考え方」や「工夫して探求する力」が身につきます。社会に出て仕事をする中で、新しい商品の開発をしたり、作業効率を高めたり、より良くなるために役立つ力です。

「キャリア教育」コラム

Part 4

キャリア教育を通して育てたい4つの能力（その4）

人間関係形成・
社会形成能力

自己理解・管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

この能力は、「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて、様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら主体的に判断してキャリアを形成していく力のことです。

具体的な例としては、学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等があります。

